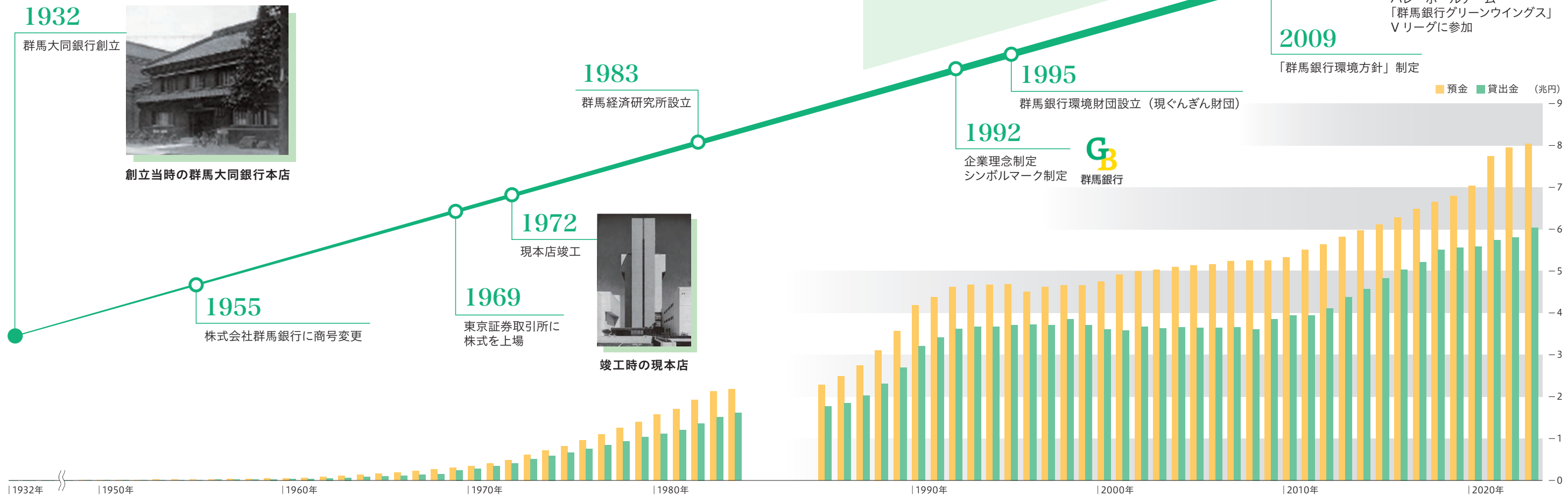
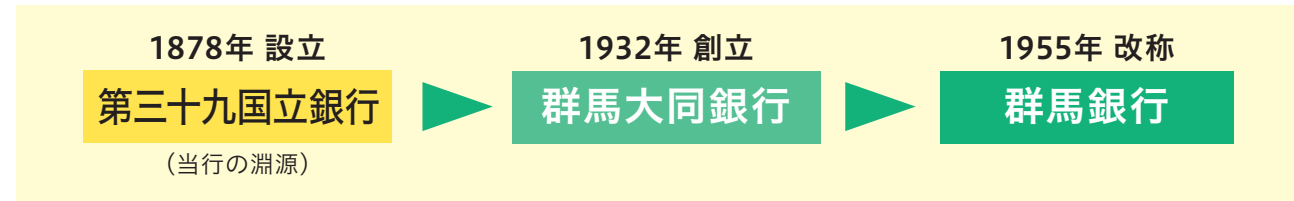


群馬銀行グループのあゆみ

群馬銀行の源流は、1878年(明治11年)の「第三十九国立銀行」の設立まで遡ります。第三十九国立銀行は、1898年(明治31年)に三十九銀行となるなど、形態や名称は変わっていきますが、群馬県内最大の銀行として、繊維産業を中心とする県内企業への資金供給を行っていました。昭和初期、県内の銀行は、前橋の群馬銀行(第2次)、高崎の上州銀行、渋川の上毛銀行を中心とした3つの銀行圏に分かれていました。国が金融機能の安定

化を目的に1県1行主義を打ち出すなか、1932年(昭和7年)に群馬県は自ら出資し、群馬県金融株式会社を設立、同社が群馬銀行(第2次)・上州銀行と合併し、名称を「群馬大同銀行」としました。なお、当行はこの合併を決定した株主総会の開催日(11月20日)を当行の創立記念日としています。群馬大同銀行は、戦中・戦後の混乱期を乗り越え、1955年(昭和30年)に行名を「群馬銀行」に改称しました。



グループ会社の設立・出資

- 1971.02 群馬中央興業株式会社
物品等輸送、ATM保守管理
- 1973.10 ぐんぎんリース株式会社
リース業務
- 1982.03 株式会社群銀カード
クレジット業務
- 1983.09 群馬信用保証株式会社
ローン保証業務
- 1986.07 ぐんぎんシステムサービス株式会社
システム開発・販売業務
- 2016.02 ぐんぎん証券株式会社
証券業務
- 2016.07(資本参加) スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社
投資信託委託業務
- 2018.04 ぐんぎんコンサルティング株式会社
コンサルティング、人材ソリューション、マーケティング・広告業務
- 2018.06 株式会社フィンクロス・デジタル
デジタル化推進
- 2020.12 ぐんま地域共創パートナーズ株式会社
ファンドの組成・運営

1 群馬銀行について

2 パーパスを実現するための戦略

3 パーパスの実現を支える経営基盤